

発議第1号

産業廃棄物処理施設 (管理型最終処分場)の 設置に反対する決議

反対討論

籠山 恵美子

この決議文の前段は、計画されている産業廃棄物処理施設の設置に議会として反対するとの文言であり、当然賛成である。しかし問題は後段である。その内容は「飛騨市も廃棄物の最終処分を市外に依存しているのだから、いつそのこと官民共同で処分場を造れ」というものである。このような決議では結局業者を利するだけであり、反対決議なら前段だけにすべきである。それを修正しない決議案なら賛成できない。

賛成討論

中嶋 国則

産業廃棄物処理施設を自然豊かな数河地区に造ることは、全議員が反対である。

決議文の後段の部分を削除すべきかどうか議論になっているが、後段部分については市民生活から排出される廃棄物について、高山市、下呂市、白川村等の飛騨広域を含めた中で検討するよう提案しているものである。

市民の意見を十分聴いて、官民共同で整備してほしいとの文言は、議会の気持ち伝える立派な表現であり、決議に賛成する。

池田 寛一

当地は県立自然公園にも指定され、スポーツ合宿や旅館経営など、行楽地としても人氣が高い。また、標高差を生かした野菜作りやそばの栽培などが盛んに行われており、産廃処理場建設には適さない。また生活環境への悪影響が大変懸念されるとともに、風評被害による市全体のイメージダウンにつながりかねない。しかし市民生活から排出される廃棄物については、飛騨広域を含めて整備する必要

があると考えられる。議員諸氏の賛同を願い賛成討論とする。



可燃ごみを出す様子

議案第16号

消費税の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例について

反対討論

籠山 恵美子

この条例改正は、市のさまざまな使用料や手数料に消費税の増税分を転嫁するものである。

しかし法律により、市の一般会計の公共料金には消費税をかけなくてよいのである。市民生活の負担軽減をせずに必要のない課税をするなど、納得がいかない。よってこの改正には反対する。

賛成討論

中嶋 国則

年金・医療・介護など社会保障費用を働く世代が支えていくことには限界がある。国と市町村の借金は、1千兆円を超えており、子どもや孫、ひ孫たちの将来世代へ、これ以上負担の先送りすることはできない。消費税は、景気や人口構成の変化に左右されにくく、税収が安定している。

飛騨市の施設等を直接利用される方、市が行う各種サービスを直接利用する方にも消費税の引き上げに伴う負担をしていただくことが公正公平な対応であり、賛成する。

議案第33号

平成26年度飛騨市一般会計予算

反対討論

籠山 恵美子

新年度予算に見られる問題は、消費税に絡む飛騨市の社会保障への責任のなさと福祉行政の貧困である。

国が消費税を8%に引き上

賛成討論

天木 幸男

げた理由は、引き上げ分すべてを社会保障に充てるということ。よってその交付金を飛騨市は市民の社会保障に使うべきだが、充当の形跡はない。それどころか民生費予算を前年度より9300万円も減額している。これではやっぱりぼったくりのそしりは免れない。

市民に説明のつかないこのような予算には賛成できない。

本年の予算は、今までにない、新しい発想と思いついた様々な政策が取り入れられ、成長戦略の目玉として産業政策に力点を置かれていることは、当を得た取り組みと敬意を表する。また予算規模から見ても身の丈にあつた規模で、活力が期待される予算となっている。したがって、この施策を如何に結果に結び付けていくかである。

この予算の効果が最大限に生かされるよう期待すると共に、適切な予算と信じ賛成討論とする。